

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援教室 わかくさ大庄			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者は主に阪神特別支援学校の中高生の利用者である	系列事業所から支援学校小学部高学年以上の児童を受け入れ、スムーズな移行のために、これまでの取り組みや目標・課題など引継ぎを受けている	職員が系列事業所に出向き、活動中の児童の様子を観察し担当職員からの引継ぎを受けられるようにしたい
2	事業所の建物の中が一部屋一部屋区切られていることでクラス分けを行い支援ができる	個々の特性やベースを考慮し安心して過ごせるようクラス分けを行っている	パーティションなどで仕切りを作り、活動に合わせたスペースを作っていきたい
3	個々のベースや特性に合わせた活動内容	一人一人のその時の体調や状況を考慮し支援を行っている	学校での活動や保護者のニーズを情報を共有し個々に合わせた教材を増やしていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現時点で配置基準はクリアしているが曜日によって職員の数不足	専門職のため、敬遠する人が多い	入社後、研修やフォローできる体制を作り相談できる環境を整え、職員が定着しやすい環境を整えます。
2	利用者の状況に応じて使えるスペースの確保が難しい	利用者が不安定になった時にクールダウンができる十分なスペースの確保ができない	各部屋の使用方法的検討を行う
3	情報の保管を紙で行っているため、整理が追いつかない	事業所が分離したため、整理が追いついていない	スキャナーを利用しペーパーレス化を目指す

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援教室 わかくさ大庄

公表日 R7年2月14日

利用児童数 18

回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2	0	0	記載なし	ご利用者様に合わせクラスを2つに分けさせて頂いております。場合により3クラスの対応をさせて頂くこともございます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	2	記載なし	ご利用者様の特性に合わせた職員の配置数を行っておりますが、基準以上の配置を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3	1	1	記載なし	気付いた点を発見致しましたらご利用者様が過ごしやすいように整えさせていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	4	0	1	記載なし	建屋が古く昔ながらの室内ではありますが清掃、アルコール消毒を心がけております。試行錯誤を繰り返し利用者様が過ごしやすい環境を作っております。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	1	記載なし	日々、ミーティングを行い個々に合わせた支援をさせて頂いております。これからも引き継ぎ特性などに応じた支援を行わせて頂きたいと思えます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	2	記載なし	将来に向けた支援を行っております。引き続き将来に向けて支援を行わせて頂きます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0	記載なし	ご本人様、保護者様に寄り添い取り組んでまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0	記載なし	ご本人様、保護者様に寄り添い取り組んでまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0	記載なし	ご本人様、保護者様に寄り添い取り組んでまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	0	0	記載なし	現状で満足せず、利用者様に合わせた活動を職員で話し合い支援内容を向上させて頂きます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	0	7	あったとしても入れないと思う（嫌がると思う） 特に希望していないので現状のままでいいと思います。	現状では行っておりませんが、交流することがある場合、保護者様に相談させて頂きます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	0	2	記載なし	今後も保護者様に丁寧に説明をさせて頂きます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	0	0	記載なし	面談時などに、保護者様にお伝えいたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	6	6	アドバイス等は買います 研修会はないと思う 研修会などは参加が難しいので現状のままでいいと思いました。	今後もご家庭との連携を深めさせて頂きます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13	0	0	1	記載なし	現状で満足せず、さらに保護者様と連携を深めさせて頂きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	1	記載なし	現状で満足せず、さらに保護者様と連携を深めさせて頂き、安心してご利用頂けるように努めさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0	記載なし	私共にてできる限り、お力になれるように努めさせていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	7	7	参加が難しいので現状のままでいいと思いました。 1人っ子なので… コロナ前に一度保護者の(母)集まりがあったがそれ以降1度もないので、交流会あれば参加したいです。	必要に応じて検討させて頂きたいと思えます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	3	0	0	記載なし	今後はさらに保護者様のご意見を大切に し、安心してご利用いただける事業所に して参りたいと思っております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0	記載なし	現状で満足せず、さらに保護者様との 連携に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	2	ブログ見てます	引き続きブログでも活動の様子をお伝え していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	2	記載なし	引き続き個人情報の扱いに職員一同十分注意させて 頂きます。少しでも個人が記載された書類の破棄は シュレッダーで行っております。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1	記載なし	引き続きマニュアルに沿って訓練を行って参りま す。見直しが必要になった場合は修正を行い安心し てご利用いただけるように努めさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1	記載なし	災害用のリュックを準備しており、地 震・火災・水害などの避難訓練を行って おります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1	記載なし	現状に満足せず安全確保に努めさせてい たきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	1	記載なし	発生した際には速やかにご連絡をさせて いた頂き、ご説明致します。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	1	記載なし	現状に満足せず、ご利用者様に合わせた 対応をさせて頂き、安心してご利用頂ける よう努めさせていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	1	記載なし	現状に満足せず、ご利用者様に合わせた 対応をさせて頂き、楽しくご利用頂ける よう努めさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、ご利用者様・保護者様 に寄り添い支援内容の向上に努めさせて 頂きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
発達支援教室 わかくさ大庄		R7年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	クラスを分けて一人一人のスペースが大きく使えるように工夫している。	人数が増えてきている上に動きが活発。体が大きいことなど考慮するとスペースは足りない為、使い方の工夫を検討する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	5	利用者に合わせて日々の担当の職員を決めている。	重度の障がいを持つ児童が多く、児童一人一人の気持ちを汲み取って関わったり、生活動作の支援を丁寧に行うためには職員数がもう少し欲しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	カーテンや扉を使うなどで介助スペースを作る工夫をしている。	階段が急なことや窓の位置が低いなど一部児童の利用が難しい場所が存在する。また、建物自体が古い建物のため、一部天井が低い場所があり壁にも注意を払わなければならない。子機に雑音が入り内線でも連絡が取りにくい。1F～3Fの連絡方法を考えなくてはならない。1F支援室の段差が危険な利用者がいる。介助者が介助するスペースが十分でない(トイレ)ため、介助に苦労するときがある為、検討が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	毎日の清掃、アルコール消毒を行っている。利用者の特性に応じた部屋分けを行いクールダウンできる場所を設けている。	冬はお湯が出ない為手洗いが疎かになる利用者がいる為、検討が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	必要に応じ空いている部屋を使用することがある。	何とか個別で過ごせるスペースはあるが空間の広さや室温管理などもう少し調整が効く環境が必要である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	日々のミーティングや会議を行い問題や課題を共有し改善に向けている。	今後も継続して取り組む。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	回収後、職員で周知し改善に向け会議を行う。	会議を行い職員で情報周知し改善につなげる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々のミーティングや会議を行い発言する機会を設け、問題や課題を共有し改善に向けている。	今後も継続して取り組む。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第3者評価は受けていない。	外部評価が必要とするときは検討を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	支援方法など、共有し行っている。	年に1回、全体に対しての研修はあるが、新人に対する研修を入社時等に用意する必要がある。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	ミーティングで前日及び当日の子供の情報を職員間で共有している。	ミーティングで職員間で共通した意識を持続ける必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	相談支援事業所と密に連絡を取り合い、連携し進路先を見据えた計画を立てている。	今後も継続して取り組む。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員間でのモニタリング及び、支援計画会議により利用者の目標達成の評価を付け作成している。	今後も個別支援計画作成会議を行う。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	アセスメント後の支援者会議を行い、計画の共有を行っている。	今後も継続して行う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	日々の記録や面談、送迎時の伝達・聞き取りなどをもとに、利用者の過去の様子と比較し検証を行っている。	今後も継続して行う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	設定されている。	地域のお祭りや活動の情報を集め、参加できるよう検討していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	個人個人に合わせた活動内容を職員間で相談しながら考え取り組んでいる。	今後も継続して行う。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	その日利用する児童の特性や好みを考えながら様々なプログラムを実施している。変化の苦手なご利用者様もいるため活動のある程度固定化を希望される保護者様もいるため、同じ課題を定着後も行う事がある。	今後も継続して行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個々の特性を踏まえた上で、全員が活動に参加できるよう工夫している。	今後も継続して行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	利用者に応じて担当する職員を事前に決め、活動への参加ができるようにしている。	今後も継続して行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	翌日のミーティングで振り返りを行い、気付いた点などを共有している。	支援終了後、掃除や送迎があるため翌日に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	行っている。	今後も継続して行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月ごとの面談を行い、計画の見直しを行っている。	今後も継続して行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0	作業活動や季節の工作、外出、リズム遊びなどを通して支援を行っている。	今後も継続して行う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	「したい」「したくない」の気持ちを丁寧に確認して、活動に取り組みやすくする、おやつに製作などで選べる活動を入れている。	今後も継続して行う。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	している。	今後も継続して行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	契約の際に医療機関を確認し必要な医療計画に対し保護者の方に確認するとともに相談事業所と連携を取ることでその他の関係事業所と連携して支援を行っている。	今後も継続して行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	メールや電話を通して保護者の方と連携し送迎時間等を調整している。	今後も継続して行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	相談員を介して情報共有している。	今後も継続して行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	今期卒所する利用者の情報の提供を行う予定。	まだ卒業した子がいないので分からない。 前年度事業所に在籍していなかったため、分からない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	連携はそこまで行っていないが、各研修の情報を周知し法人で研修費、交通費を負担し希望者に参加させている。	法人主催の研修以外では送迎や営業時間に重なり参加できない状況がよくある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	実施実績はないが、今後検討する。	ご要望がある場合は検討が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	代表者が可能な限り参加している。	職員に周知を行っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳、送迎、面談にて利用者の日々の様子を共有している。	今後も継続して行う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	お困りの際にはわかくさでの様子や対応を説明している。	ご要望があれば検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学时、契約時に支援内容・利用者負担について説明している。	今後も継続して行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	面談や送迎時での情報を共有する際に家族や本人のニーズを確認している。	今後も継続して行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	直接お会いして支援計画内容の説明を行っている。	今後も継続して行う。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談を受けた場合は送迎時、電話、面談で対応している。	今後も継続して行う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	以前行ったことはあるが、コロナ化で継続が難しくなった。	今後必要であれば検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	重要事項説明書に第三者窓口について記載している。	今後も継続して行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月1回程度のブログの更新を利用し発信している。	今後も継続して行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報に記載された書類はシュレッダーで廃棄している。 ・個人情報の取り扱いは職員間で注意するよう心がけている。	今後も継続して行う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・視覚カードやコミュニケーションツールを用いて情報伝達をしている。 ・保護者に対しては連絡帳を用いて情報伝達をしている。	今後も継続して行う。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域住民の招待により不安定になる利用者もいると推測される。	事業所での行事に地域の方々に参加して貰うことに不安を感じる。自傷・他害のある児童も多く在籍しているため、今後ご要望があればよりよい形で行えるよう検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを策定し訓練を実施している。	今後も継続して行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCP研修を実施し訓練を行っている。	今後も継続して行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者に契約時に情報シートを記載していただき確認している。薬の量や種類の変更があった際には都度、連絡をいただき確認するようにしている。	今後も継続して行う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者に契約時に情報シートを記載していただき確認している。	今後も継続して行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	事業所の安全計画をもとに行っている。	今後も継続して行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	避難訓練の際に連絡帳にて避難時の様子をお伝えしている。	面談の際に保護者様に避難場所や避難時の緊急連絡先を再度お伝えしていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット報告書に記載し周知できるようにしている。	今後も継続して行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	1年に1回の虐待防止研修を通じて適切な対応をできるようにしている。	今後も継続して行う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	必要であれば個別支援計画内に身体拘束時の方法や状況を記載し同意書をいただくようにしている。	今後も継続して行う。